

秋田高校 同窓会だより Vol.118



AKITA HIGH SCHOOL alumni association news



あの頃の思い出 バスケットボール部 創部100周年を契機に 土門 孝文 氏 (昭和53年卒)

総会記念講演 子どもの記憶よ、永遠に 鷲尾 天 氏 (昭和59年卒)

エッセイ 演奏会の司会、わがライフワーク 賀内 隆弘 氏 (昭和55年卒)

ズームアップ ショーケースエクスプレス爆誕! 平野井 順一 氏 (平成6年卒)

同窓生の経験活かせば秋田は動く 川辺 隼之介 氏 (平成13年卒)

文武両道
囲碁部 全国選手権団体戦で3位
美術部 全国総文祭で奨励賞

同窓会発足110周年 高校時代に思いをはせて

秋田高校同窓会は6月15日、秋田キヤッスルホテルで令和7年度通常総会を開催した。同窓会発足から110周年の節目となる今年の総会には、同窓生や教職員ら147人が集った。令和6年度の決算報告、常置委員会（企画・財政・名簿・広報・ホームページ）および郷土創生特別委員会の事業報告・決算に続き、令和7年度の事業計画・予算が原案通り承認された。

銭谷眞美会長は冒頭、「毎年、桜の季節を喜ぶ日本人の姿がドイツ人には不思議に映るらしい。私が何十年前も前の高校時代を懐かしく思う気持ちにも似たところがある。こういう心情を抱くことができる日本人というのも悪くないと思う」と挨拶した。

4月に着任した庫山徹校長は、創立150周年記念事業で昨年からはじまった生徒向けの講演会や米国への短期研修事業などへの同窓会の支援に謝意を表明した。またコロナ禍以降、制約が多かった運動会や秋高祭などの学校行事がようやく元来の形を取り戻したことや運動部・文化部ともに県大会、全国大会で好

成績を収めている、と生徒たちの活躍を報告した。

事務局長は、同窓会が前年度、生徒の米国研修事業に140万円、北雄講演会に120万円を支出したことの追加支援として100万円を支出したことなどを説明。現役生徒への支援継続のために同窓会費の納入をお願いしたいと呼びかけた。

出席した同窓生からは、学年による会費の納入率のばらつきが大きく、若年層においては1桁の学年もあるとの指摘があった。また、大学教員の同窓生からは県内出身学生のITリテラシーに課題を感じるとして高校のデジタル教育強化を求める意見も出た。

総会後の記念講演では、東映アニメーション執行役員の鷲尾天氏（昭和59年卒）の講演が行われた。鷲尾氏は「プリキユア」シリーズや「おしりたんてい」など人気の子ども向けアニメを手掛けてきたプロデューサーで、プリキユアに込めた思いや韓国作家の絵本を映画化し、米アカデミー賞にノミネートされたことなどを語った。

続いて行われた懇親会では、幅広い年代が参加し、久々の再会を喜ぶ姿が会場各所でみられた。会が進むにつれ高らかな笑い声があふれ、最後は応援団OB紫紺の会のリードに合わせて校友会歌を斉唱、来年の再会を誓い盛会のうちに幕を閉じた。

一般会計報告（同窓会事務局）

『一般会計 決算・予算』 概要説明

① 令和6年度決算

会費収入は前年度実績よりは31名上回ったが、予算比では229名の減。繰入金は150年史の頒布（残部あり）。

だより116号を増ページ（全国大会等に出場した部活が多かったため）
支出 会員情報管理システム整備は翌年度へ繰越し。コロナ禍で延期していた同期会の開催が多く、支援額が増加。

② 令和7年度予算

規程を改定し入会金の額を1年相当分増額し、会費の免除期間を卒業後4年から5年にする。基金会計から400万円を繰り入れ、物価上昇分への対応、母校生徒支援の増額、築30年以上経過した同窓会館の設備整備に充当する。

令和6年度 一般会計 決算報告書

<収入の部> (単位:千円)			
項目	予算額	決算額	増減
入会金	1,879	1,872	△ 7
会費	11,300	10,842	△ 458
協賛広告費	440	440	0
会議収入	1,300	1,181	△ 119
雑収入	111	295	184
繰入金	700	182	△ 518
繰越金	9,990	9,990	0
収入合計	25,720	24,802	△ 918

<支出の部> (単位:千円)			
項目	予算額	決算額	増減
事業費	11,000	5,878	△ 5,122
会議費	2,900	2,507	△ 393
事務費	9,340	8,967	△ 373
基金	0	0	0
雑費	80	54	△ 26
予備費	2,400	0	△ 2,400
支出合計	25,720	17,406	△ 8,314

令和7年度 一般会計 予算書

<収入の部> (単位:千円)			
項目	予算額	前年度予算額	増減
入会金	2,421	1,879	542
会費	11,000	11,300	△ 300
協賛広告費	440	440	0
会議収入	1,400	1,300	100
雑収入	343	111	232
繰入金	4,300	700	3,600
繰越金	7,396	9,990	△ 2,594
収入合計	27,300	25,720	1,580

<支出の部> (単位:千円)			
項目	予算額	前年度予算額	増減
事業費	12,300	11,000	1,300
会議費	3,100	2,900	200
事務費	9,320	9,340	△ 20
基金	0	0	0
雑費	80	80	0
予備費	2,500	2,400	100
支出合計	27,300	25,720	1,580

天上天下 TENJO TENGE

クマの出没を心配する日々が続く中、英オックスフォード大学大学院で動物学、生態系を専攻する東京出身の女子学生がこの夏、来県した。父親の仕事の関係でスイスに生まれ、米英で通算14年間過ごし、米ハーバード大を昨年卒業したばかりのトランプ米大統領の方針で同大から外国人留学生を排除する動きが取り沙汰される前だった。卒論のテーマはコウモリの生態。今度は秋田のツキノワグマを研究対象にした▼秋田市内に3週間滞在し、大学、行政の専門家、市民らにインタビューを重ねた。秋高同窓会館も訪問。質問資料に「クマの行動をどう思うか」「クマを管理する戦略として射殺することは」といった項目もあった。スコットランド出身の教官との間で、「クマと人間の共存・すみ分けの道」を考えたいという意図がうかがえた▼クマは危険で厄介な生き物と片付けてしまえばかりでなく、地球の大自然、生態系や生物多様性の観点から、クマを見つめる才媛の姿勢に深く考えさせられる。日常生活にクマの脅威がなくなつてほしいが、以前のようにクマと安全にすみ分けできれば望ましいだろう▼阿仁のマガギはクマに感謝し、生活を営んできた。私たちも才媛の視点やマガギの精神から、クマとの向き合い方を考え直す余裕を持てるだろうか。

子どもの記憶よ、永遠に

東映アニメーション執行役員、製作部長
兼企画部エグゼクティブプロデューサー 鷲尾 天 (昭和59年卒)



業規制なども強化されましたが、その頃は不夜城のようでした。

「プリキュア」にかけた思い

皆さん、こんにちは。昨日は、久しぶりに同期の方々を集まり、昔話を花を咲かせました。高校時代のことがよみがえり、改めて自由奔放な学校生活を送っていたのだと思います。(笑) 当時の先生方にはご迷惑をおかけしたかもしれません。この場を借りて謝ります。

さて、本日は「子どもの記憶よ、永遠に」というテーマでお話しします。

映像との出会い

私は高校卒業後、慶應義塾大学に進学し、卒業後は1992年から6年ほど秋田朝日放送で報道記者をやりました。そこから東映アニメーションに移り、アニメや映画制作の道へ進むことになりました。

今は新しいビルになりましたが、当時は古い建物で、スタッフルームにはフィギュアが山ほど並べてあって、まさに趣味に生きていく方ばかりでした。現在では残



黒が基調のプリキュア

©東映アニメーション

私は、子供向けのアニメを中心に、「ワンピース」「プリキュア」「おしりたんてい」などを手がけてきました。ご存じだと思いますが、女の子向けのアニメ、プリキュアは2004年に西尾大介監督と組んで始めました。それまでの女の子のアニメは魔法が使えたりか素敵な王子様が助けてくれるというのが多かったのですが、プリキュアは普通の中学生が自分たちで問題に立ち向かうというテーマで行くことにしました。当時は非常に斬新でした。西尾監督は、「女

の子だからすぐ泣いたりするのは止めよう」といつも言っていました。また、女の子はピンクというイメージをひっくり返して黒をメインカラーにしました。1年目に4〜6歳の女兒の年間平均視聴率39%、最高視聴率62・5%という驚くべき数字を取りました。

プリキュアのシリーズは3年目にキャラクターを刷新したときに大きな壁にぶつかりました。これでシリーズも終わりかと思いましたが、キャラクターデザインに初めて女性を起用し、「2人はプリキュア」というタイトルが始まったのに、5人チームにしたら再び大ヒット。今やプリキュアは87人にまで増え、日曜朝8時半の枠を支え続けています。

2023年には、20周年で、全プリキュアが登場する映画を作った社会人になった20年前の女の子たちが映画館に戻って来てくれた。また、スピノフのTVシリーズとして「大人になったプリキュア」というコンセプトの作品も放送しました。「大人になるのも悪くない」というメッセージを込めました。

米アカデミー賞にノミネート

ここで少し別の作品の話もさせていただきます。

短編アニメーション「あめだま」という作品です。原作は韓国



あめだま
©Baek Heena, Toei Animation

の絵本。リンドグリーン記念文学賞を受賞したベク・ヒナさんの作品です。内気な少年が不思議な「あめだま」を通じて次第に心を開いていく物語です。私はこの原作に惚れ込んでどうしても作りたいと思っただけですが、どう考えてもビジネスにはならない。頭をひねって、「アジアを代表する絵本を映像化することで会社のブランド力を高めよう」とみだいな理屈で会社の上層部を説得したんです。本当にプロデューサーって、うさぐさい仕事ですよ。(笑) 「映画祭で賞を取ります」とか何の根拠もなく言っただけ。監督は西尾大介さん、音楽は佐藤直紀さん。「ALWAYS 三丁目の夕日」で日本アカデミー賞音楽賞を受賞された方です。

幸運なことに、「あめだま」は子供向け映画の賞をたくさん受賞し、昨年のニューヨーク国際子ども映画祭でも最優秀賞をいただきました。そうするとアメリカのアカデミー賞にエントリー資格ももらえるんですよ。それでエントリーしてみた12月に連絡が来てショートリスト(15作品)に選ばれたと言われました。今年の1月

23日には5作品に絞られるというので、みんなでテレビの前に集まって固唾をのんでオンラインの生中継を見ていました。英語のタイトルの「マジックキャンデー」が途中まで読まれたところでみんながクラッカー鳴らして、もうその後のことは全然記憶にありません。そして3月2日にあのアカデミー賞授賞式に行ってきました。みんなドレスアップして。セレブたちもたくさん来ていて、ちゃっかり写真を撮ってるスタッフもいましたが、私はあちこち取材で引き回されているうちに気づいたら会場に入っていたという感じでした。アカデミー賞の受賞はなりませんでしたが大変貴重な経験をさせていただきました。

子どもの頃見たものは忘れない

ずっと子供向けのアニメーションを作っていましたので、「子どもの頃に見ていました」と言っただけの方によく会います。子どもの頃に見たものは忘れませんが、昨日の夕食に何を食べたかを忘れても、子どもの頃の記憶は持ち続けています。私もそうです。そういうものを創る仕事ができます。ことを本当に喜びに感じています。

Profile

わしお・たかし / 1989年慶應義塾大学法学部卒。92年AAB秋田朝日放送入社。98年東映アニメーション(旧東映動画)入社。企画部プロデューサーとして「キン肉マンII世」、「ふたりはプリキュア」、「怪談レストラン」、「おしりたんてい」、「不思議駄菓子屋 銭天堂」などを立ち上げる。現在は、東映アニメーション執行役員、製作部長兼企画部エグゼクティブプロデューサー。趣味…な、無い! モットーなるべく頑張る

校長所感

少子化の波を乗り越え、文武両道のさらなる高みへ



秋田高校校長

庫山 徹

4月に校長として着任いたしました庫山と申します。

私は平成2年4月に秋田県の教員として採用され、最初の赴任校が秋田高校でした。平成9年3月までの7年間在職し、その間に担任として2回、卒業生を送り出させていただきました。また、卓球部の顧問も7年間務めさせていただきました。当時は完全週休二日制が導入され始めた時期でもありましたが、授業時数の確保を目的として学校行事の精選が進む中、伝統行事であった太平山登山が取りやめとなった時期でもあります。この7年間の在職中、硬式野球部は春夏合わせて4回、甲子園に出場しています。中でも平成3年の選抜大会では、優勝した大阪桐蔭高校と対戦し、勝利目前で同点に追いつかれ、延長戦で惜しくも敗れるという白熱した試合が印象に残っています。ただ、私自身は他の業務との兼ね合いで、残念ながら甲子園での応援は叶いませんでした。来年こそは現地で応援したいと、密かに願っております。この期間、サッカーや卓球が全県総体で優勝しインターハイに出場しています。また、柔道やボートも全国や東北で活躍していました。

あれから約30年が経ち、当時の生徒たち

ちは現在、40代後半から50代前半となり、ご子息やご息女が現在本校に在籍しているという方も多数いらっしゃいます。今年6月に同窓会東京支部の総会に参加させていただいた際には、当時担任を務めたクラスの委員長だった方や、最後に担任したクラスの卓球部員だった方と再会することができ、思いがけない再会を大変うれしく思うとともに、当時を懐かしみながら有意義なひとときを過ごすことができました。

また、令和4年度には副校長として本校に1年間勤務いたしました。この年は翌年の創立150周年に向けた準備の年であり、校歌制定100周年記念を兼ねたプレイベントの開催や、第1回全国野球大会の決勝戦の再現となる、京都府立鳥羽高校（旧・京都二中）を招いての招待試合の企画などにも関わることができました。

そして現在、私にとって社会人としての原点であるこの秋田高校に、今度は校長として勤務できていることを大変光栄に思っております。責任の重さを日々感じておりますが、当時の校長先生をはじめ、多くの先輩方にご指導いただき、教員としての礎を築くことができたこの秋田高校に、少しでも恩返しができるよう努めてまいります。

さて、同窓会からご支援をいただいております。実施している本校のアメリカ研修「北雄の翼」ですが、今年度は2年生32名が参加し、7月6日から14日までポストンでの研修が無事行われました。参加した生徒たちは、大いに刺激を受け、さまざまな学びを得て帰国しました。9月26日には、1・2年生に向けた報告会も実施しました。本研修は本校の恒例行事として定着しつつあり、すでに来年の参加を楽

しみにしている1年生もおります。また、創立150周年の翌年から始まる「北雄講演会」は、2回目の実施となりました。今年度は9月4日に、東京大学薬学部教授で、脳科学および生成AIの研究者である池谷裕二先生を講師にお迎えし、大変興味深い講演を拝聴することができました。

現在、秋田県は全国の中でも人口減少率が高く、少子高齢化が急速に進行しています。本校は現在、普通科6クラス、理科1クラスの計7クラス体制で、来年度もクラス数に変更はありませんが、普通科の定員が12名減となる予定です。平成初期には1学年約450名の生徒が在籍していましたが、現在は各学年275名、来年度の新入生は263名となります。

そうした中でも、生徒たちは部活動や課外活動に励み、全国や東北の舞台で様々な成果を挙げています。先日行われたラグビー部の花園予選県大会では惜しくも敗退しましたが、野球部を引退した生徒などが助っ人として出場することで、秋田高校として単独チームで試合に臨むことができました。ラグビー部のみならず、多くの部で部員数の減少が課題となってきましたが、その一方で、県外から「秋田高校で文武両道に取り組みたい」と入学してくる生徒もいます。今後も、全国に誇る本校の「自主自律」「文武両道」の精神を継承し、かつ時代の変化にも対応しながら、その実践を、より広く発信していきたいと考えております。

今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

くらやま・とおる／昭和41年湯沢市生まれ。平成元年筑波大学を卒業。秋田西高校での講師を経て平成2年に秋田高校で採用となる。その後、秋田北高校、西目高校、教育庁義務教育課、秋田南高校、同中等部、令和2年に秋田南高校教頭、令和4年秋田高校副校長、令和5年横手清陵学院中学校・高等学校校長を経て令和7年秋田高校校長。

ディズニー公式動画配信サービス

JCBカード会員なら3ヵ月間50%オフで見放題！
くわしくはコチラ▶

四條昌恵
(昭和60年卒、旧姓 関)

105-6355 東京都港区虎ノ門1-23-1
虎ノ門ヒルズ森タワー
ウオルト・ディズニー・ジャパン株式会社
E-mail: masae.shijo@disney.com

弁護士法人
近江法律事務所

弁護士
近江直人 (昭和60年卒)

弁護士
森田祐子 (平成9年卒)

〒013-0051 横手市大屋新町字大平593-1
TEL.0182-33-3238 FAX.0182-33-2753
https://www.omi-lo.com

及川医院
OIKAWA CLINIC

内科 内視鏡内科 胃腸内科

院長 医学博士
及川 圭介
(昭和60年卒)

〒011-0947 秋田市飯島新町3-1-20
Tel 018-845-3579 Fax 018-827-3580
www.oikawaiin.com

いなば内科胃腸科クリニック

院長 医学博士
稲葉 宏次
(昭和60年卒)

〒010-0802 秋田県秋田市外旭川字待合14-3
tel.018-868-1781 fax.018-868-1721
E-mail: inaba@inaba-cl.jp http://www.inaba-cl.jp

かうち・たかひろ／1961年生まれ。秋大附中、秋田高校、法政大学、山形放送を経て1987年秋田放送入社。「土曜はキャベツクラブ」「あさ探りワイド秋田便」など、主にラジオ番組を担当。2009～22年アナウンス部長。定年後も再雇用でアナウンサーを続け、昭和歌謡など幅広いジャンルをカバーする音楽番組「賀内隆弘の名曲がいっぱい」「日曜も名曲」を手がける。音楽の知識を生かし、吹奏楽をはじめとした演奏会の司会も長年担当している。



演奏会の司会、わがライフワーク

ABS秋田放送アナウンサー 賀内 隆弘 (昭和55年卒)

振り返れば音楽とアナウンス、この二つが人生の両輪でした。

1977年、秋高に入学した私がまず突撃したのは、小体育館入って右側、音楽室の脇、今は亡き音楽の伊藤吉雄先生の部屋でした。むせるような煙草の匂いの中、「あのお、僕、吹奏楽のアレンジできるので、使ってくれませんか」と、恥ずかしげもなく売り込んだのです。アピールが実つて、吹奏楽部のために作曲や編曲をし、楽器は吹かなくても楽譜ばかり書いていた3年間でした。

大学卒業後、山形の放送局で3年、その後縁あってUターンし、秋田放送で働き始めたある日、中学校時代に吹奏楽部でお世話になった恩師に再会する機会がありました。「アナウンサーやってるんだって? ジャ司会でさるだろう」

その一言で、道が開けました。1988年、秋田県民会館で「吹奏楽トップコンサート」を司会して以来37年、県民会館や秋田市文化会館、ミルハスなどで演奏会の司会をしたほか、「影アナ」と呼ばれる場内放送も担当してきました。吹奏楽にかかわる教員には、附中、秋高の先輩や同期、後輩も多く、演奏前の舞台袖で音楽話や昔話に花が咲くこともしょっちゅうで、ふるさと秋田で仕事できる幸福を感じながら、ステージに立つことができました。スタジオでの仕事と違って舞台の司会は、お客様が目の前にいる「ライブ」ですから、反応を直に感じながらの進行です。同時に感じるのは、司会のアナウンスと演奏（特に管楽器の）には、共通点が多い、ということでした。



演奏会の司会をするなら読むべき一冊

- 目の前の原稿に視線を落とすとして読んでも声が遠くに届かない。客席の壁に声を当てるくらいの気持ちで発声する。
- 1カ所2カ所、間違ったり噛んだりしても気にしない。大事なことは全体を通して「この人の言うことは信用できるか」と感じてもらうこと。そのためには原稿の内容をよく把握しておく。
- 読みづらい言葉は「どこで切るか」を考える。「逃れられない」を息で読もうと考えず「逃れ／られない」と、二分割する意識で臨めば読みやすくなる。

まだまだあるのですが、そうした注意点を自分なりにまとめて「司会マニュアル」を作ったところ、ひよんなことから東京の音楽出版社・音楽之友社の目にとまり、「演奏会を成功させる 舞台の作法」を出版することになりました。

64歳にして初の体験でしたが、加賀谷書店では週間1位の売り上げを記録したこともあったそうで、感謝するばかりです。

音楽とアナウンス、その両輪が重なるところに司会あり、と感じています。

米山消化器内科クリニック
TONEYAMA CLINIC

院長
米山 和夫
(昭和60年卒)

〒010-1414 秋田市御所野元町1-1-1
フレスポ御所野B棟2F
TEL: 018-853-1531
FAX: 018-853-1521

山内 歯科
YAMANOUCHI DENTAL AND ORTHODONTIC OFFICE

矯正 歯科

秋田市更正・育成医療病院
秋田県顎口腔機能診断施設
日本矯正歯科学会 臨床研修機関

ヤマノウッチ!

日本矯正歯科学会 認定医・臨床指導医

山内 積
(昭和60年卒)

018-832-5252
www.yama-ortho.info

いつでも、大切な日のために

Matsuyo
松与会館

代表取締役
湊 学 (昭和60年卒)

〒013-0035 秋田県横手市平和町4-2
http://www.matsuyo.jp
E-Mail: staff@matsuyo.jp
TEL.0182-32-2101

社会保険労務士
館岡英樹事務所

社会保険労務士
館岡 英樹 (昭和60年卒)

秋田市川尻みよし町7-6 〒010-0945
TEL 018-883-0427 FAX 018-883-0428
E-mail:tateoka@sret.biz

昭和42年卒同期会 (四二会)

四二会の歴史はかれこれ40年以上昔にさかのぼる。初めは有志の集まりだったが、やがて事務局を作って組織化し、毎年定期的に同期会を開催するようになった。コロナ禍での中断はあったものの、母校に寄せる仲間たちの熱い思いは今も変わらずハイテンションのまま。

今年は9月6日、協働大町ビルに52人の同士が集まり旧交を温めた。懇親会に先立ち物故者に黙とうを捧げ、校歌を斉唱した。また事務局からは教育振興基金への寄付など四二会活動に関する報告があった。

北川登君の発声で乾杯、会場は一気に懇親会モードに。今回は県外から7人が参加したほか、いまだ現役で活躍する同士が約4割もいて話題は尽きることがなかった。笑顔あふれる中で最後は校友会歌を大合唱、来年の再会を約して散会した。(石井 仁 記)



昭和30年卒同期会

9月28日、日本を変える自民党総選挙のさなかに、昭和30年卒の同期会(第2回茶話会)が秋田駅前のメロポリタンホテルで行われた。昨年を上回る同期生が東京や仙台からも集まり、旧懐を温め、老いの生き方を語り合った。代表挨拶で橋本顯信氏は西行の生き方を語り、乾杯の挨拶では新田目倅三氏が母校に残る名言や校歌の歌詞を引用して人間の生き方を語った。続いて、応援団長畑江暢雄氏のリードのもと、校歌と校友会歌を大合唱し、「高校3年生」を伊藤賢隆・高橋昭一両氏の指揮下で熱唱、89歳の心はいつしか青春に返っていた。

秋風や 散りゆく桜の 同期会 人生いろいろ 老いもいろいろ
 ~詠み人知らず~
 (松岡 正樹 記)



昭和50年卒同期会

6月28日(土)秋田キャッスルホテルにおいて「秋田高校昭和50年卒古希記念同期会」が開催されました。

当日は71名の同期生が集い、記念撮影、三吉神社によるお祓いに続き、佐藤尚子氏(3B)の司会で、幹事代表川村満氏(3J)が挨拶、辻良之氏(3A)が乾杯、須藤智明氏(3C)・佐々木晃久氏(3D)のエールで校歌を斉唱、中村順子氏(3B)が中締めと順調に進行しました。

途中アトラクションとしてクラス代表スピーチと今回の目玉アナログ企画であるあみだくじ大抽選会ではたくさんの賞品が当たり大いに盛り上がりました。

二次会でも佐々木章氏(3B)の司会進行で塚田善也氏(3J)が挨拶乾杯した後は久しぶりの再会で話しは尽きず、スウェーデンから来日された所澤朗子氏(3E)の締めでようやくお開きとなりました。

次回の開催は今後の幹事会決定を待つことになりましたが、まだまだ余韻を楽しみたい面々は秋田の夜の街へと消えて行きました。(佐々木 章 記)



昭和49年卒同期会

49年卒同期会は、コロナ禍の時期を除いて隔年で開催してきたが、昨年の「古希を祝う会&卒業50周年記念同期会」を機に、今後は毎年開催することとした。今年は8月9日協働大町ビルを会場に45名が参加した。

小泉ひろみさんの乾杯の発声で開宴。今回も恩師の三船新次先生にご出席いただき、当時の思い出話や激励のお言葉をいただいた。

久しぶりの参加者からは、まだ現役で元気に働いていることや、退職後新たな趣味や体力維持に取り組んでいるなどの紹介があった。

紫色の学生服姿で登場した荘司裕さんのリードで声高らかに校歌斉唱。マスターズ甲子園参加で遅れて到着した小野巧さんの中締めの後、同ビル1階の『魚河岸』での二次会には、29名参加。一次会は3年次、二次会は2年次のクラス単位でテーブルを囲み、さらに旧交を温めた。会話が弾み別れがたい気持ちを抑えつつ、健康でまた会おうと次回の再会を固く誓い、笑顔で散会した。(佐藤 悦紹 記)





昭和59年卒 還暦を祝う同期会

8月10日(日)、秋田キャッスルホテルにて昭和59年卒の還暦祝賀同期会を行いました。還暦の区切りということもあり、県内はもとより全国から95名の同期生が集いました。

同期会は、2人の恩師(菅原洋先生、米田進先生)をお迎えし、楽しい時間となりました。卒業以来42年ぶりの顔もあったことから参加者全員が簡単な自己紹介を行いました。その後は、時が過ぎるのも忘れて思い出を語り合い、お互いの健勝を喜ぶ声が会場にあふれました。盛会の中、応援団員OB2名のきびきびとしたリード(応援の振り)で校歌を斉唱し、名残惜しくも会を閉じました。

次回からは3年周期で実施していく予定です。69歳(数え年の古希祝い)の会を千秋楽とし、もう3回は現在の方法で案内をお送りします。次回の開催に向けてさらにネットワークを広げていきたいと思っていますので、今回参加できなかった方々もぜひ機会を見てご参加ください。

(三浦 亨 記)



昭和41年卒同期会

傘寿前年にあたるのでと招集をかけ、S41卒生35名が集合した。卒業学年より60年が経過し、それなりの年輪を刻んだものたちである。会長川村挨拶の中で、この1年間に逝去された同期生を紹介し、黙祷を捧げる。校歌・校友会歌は所用にて不参加の応援団長に代わり校長経験柴田が壇上リードさせてもらいました。10年先輩の三船新次先生の変わらぬ激励祝辞がうれしく、宴に移って最初の乾杯は遠来東京よりの田口佳孝君。宴中石田・関根のサクストランペットセッションが花を添えた。遠路はるばる組からのスピーチでは、旅費コストものともせず楽しみに参加しているのだから、傘寿までとか区切りを決めて進めないでねと念押しをされてしまった。ということで、会長からは、10月第一土曜日は決まっていることなので、来年は10月3日ですねとの表明もあり、傘寿祝会への多数参加呼びかけを確約したうえで、最後は塩谷洪毅君の『一本』で締めた。

(柴田 義弘 記)



若菜会講演会、南極観測体験談に興味津々

秋高女子卒業生の会「若菜会」は、令和7年度通常総会を7月6日、秋田拠点センターALVEで開催した。令和6年度の活動としては、県の女性活躍推進担当理事・丹治純子氏と会員7人による面談や、同窓会ホームページ内に若菜会ページを開設したことなどについて、菊地えり子副会長が報告した。

総会後は、第66期南極観測隊に同行した秋田魁新報社の大久保瑠衣記者(平成14年卒)が体験談を語った。第66期では女性隊長のもと、女性隊員の人数が過去最多となり、現場での女性の活躍が印象的だったという。

水の節約のため1週間お風呂の水を替えないとか、人懐っこいペンギンとの交流などのエピソードが紹介されると、会場からは驚きや笑い声が上がった。講演後も熱心な質問が相次ぎ、貴重な体験への関心の高さがうかがえた。



昭和54年卒同期会

8月16日午後6時から、22名の参加で「昭和54年卒同期会」が秋田キャッスルホテルで行われた。

2017年から毎年開催(コロナ感染拡大のため2回中止)している。昨年の東京開催では30名が参加。お盆の帰省に合わせることで多くの人の参加を期待していたが、その思惑は見事に外れてしまい残念。次回開催の大きな課題材料となった。

人数が少なくなった分、お互いの話は深まり、キャッスルのバー、ロータスでの二次会にも多数参加し盛り上がった。今回初めて参加したY君は30年ぶりの秋田とのこと、そんな機会になったことは嬉しく、開催の主旨は充分達成することができた。

『来年元気では限らない』ので、元気なうちは毎年開催することを確認。最後にW君の見事なリードで校歌を声高らかに歌い、来年も秋田で集うことを約束して閉会した。

(高橋 信一 記)



あの頃の

思い出

▶16◀

バスケットボール部

秋田高校バスケットボール部は、大正14年創部、本年で100年を迎えました。われわれ昭和50年入学組は入学から50年という節目になります。この頃の戦績はバスケット部全盛期のひとつに当たります。

創部100周年を契機に

土門 孝文 〓 昭和53年卒

この年、入部したのは附属中の安保亨、石館周三、太平中の桜田雄幸、南中の川浪秀一、西中の柏崎達徳、大塚一男、佐藤真、城南中の工藤至、そして東中の私を含めて十数人でした。出身校は違えど何度も対戦経験がある気心の知れた精鋭たちで、すぐに打ち解けることができました。

当時のスターティングメンバーは、2年上の中島誠さん（現OB会会長）の代と1年上の瀬戸泰之さんの代で構成され、平均身長180cmを優に超える高さで優れた技術を兼ね備えた素晴らしい先輩たちでした。全国で無敵を誇った能代工業とも新人戦で互角の戦いを繰り広げた実力があり、今振り返っても誇らしい限りです。

懐かしい神田先生の教え

バスケット部の伝統を受け継ぎ、われわれに最も影響を与えた恩師は神田勉先生（昭和25年卒／昭和44年、55年まで母校指導）でした。われわれの中では通称カンカンと呼ばれた先生の指導は、基本に忠実でありながら、生徒一人ひとりの性格や適性を見極め、将来も見据えた助言をくださるなど素晴らしいものでした。中途退部後再入部した者、体調不良時に気遣いを受けた者、大会遠征先での試合中に到底足りるはずもない交通費を差し出され「こ

れで秋田さ帰れ」と発奮を促された者など先生から指導を受けた数々のエピソードが思い出されます。先生の教え子たちは各方面で活躍しており、特に教育界においては中学・高校の校長を数多く輩出しています。

また、神田先生の教え子である畑澤三幸先生（昭和47年卒）からも大きな影響を受けました。特に印象深かったのは、夏休みに行われた小坂合宿です。この合宿は3年生が引退した後の新チームの団結力、チームワーク、技術の向上を目指したもので、体育館併設の宿泊施設に1週間缶詰で、外部からはほぼ隔離状態でした。合宿では、現役東京教育大（現筑波大）生であった畑澤先輩より、厳しい指導を受けました。同大学の監督は全日本チームの監督もしており、畑澤先輩からその教えを基にした先制的、効果的な練習法を伝授していただいたおかげでチームとしての基礎を固めることができました。

宿泊棟から体育館へ続く円筒状の渡り廊下は、まるで当時放映されていた米テレビドラマ「タイムトンネル」のように、夏の地獄コートへの道でした。今も耳に残る畑澤先輩の「リピーター！」という声。スリー・メン練習ではバス&ランでオールコートを往復、シュート、パス、キャッチのミスはもちろん些細なミスがあっても延々と「リピー



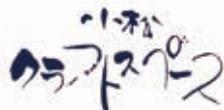
昭和51年1月2日 新年練習初め（神田先生誕生日）

16
ONESIX

代表取締役

齋藤 靖之
SAITO Yasuyuki
(平成7年卒)

株式会社ワンシックス
秋田県秋田市千秋明徳町
1番56号NEWテラス広小路
tel: 018-123-4567
mail: saito@onesix.com
www.onesix.com



小松 正雄 (昭和42年卒)
小松 和彦 (平成7年卒)
〈秋田人形道祖神プロジェクト〉

秋田市中通4丁目17-9
TEL 018-837-1118

小松クラフトスペース 経営

歯科口腔外科・一般歯科・小児歯科

大淵歯科醫院

院長 大淵 義孝 (昭和42年卒)
本校学校歯科医
大淵 泰彦 (平成7年卒)

日の健康を保つことは、身体の健康を保つこと。

〒010-0001
秋田市中通4丁目7-35 秋田市民市場2F
TEL 018-835-3711
https://ohbuchi-dental.jp



昭和52年 県高校総体 代表決定戦での試合風景

も中身は濃く集中したものでした。また、先生の教え子がいる国鉄秋田（現JR東日本）、小坂鉦山（同和）や秋田大学など社会人や大学生との練習試合は、チームを大きく成長させたものと思います。

また、試合形式の練習では、プレーが止まらなくとも、気づいたところがあると、先生はホイッスルを鳴らして、選手個々の動きに指示や改善点を出されます。指示や改善点を受けた人だけでなく全員が耳を傾け、自らのプレーに活かす姿勢が根付いていました。

あと一步で全国大会に届かず

高校総体では、昭和50年は決勝まで進出するも能代工業に敗北。その年、能代工業は初の三冠王（全国選抜、高校総体、国体で優勝）を達成しています。翌51年は、能代工業が前年全国優勝のため県代表枠がもう1校増えたことから、雄物川高校と代表決定戦で対戦、惜しくも2点差（51対53）で敗退、全国大会出場を逃しました。

そしてわれわれが3年生となった昭和52年は、突出した選手が卒業し、県内でも中の上程度のチームでした。新入戦では不甲斐ない戦いぶりに大先輩の堀田井孝三さん（昭和10年卒）が試合後、会場裏に集合した際、唇を震わせて怒っていたことが思い出されます。

そのような先輩の方々からの叱咤がその後の奮起に繋がったものと思います。高校総体の準々決勝の秋田工業戦は、それまで一度も勝っていなかった強敵でしたが、チームの一体感と高揚



半世紀ぶりに昭和53年卒の同期が再会（2025年8月10日「秋高バスケット部創部100周年記念祝賀会」にて）

感に痺れたバストゲームではなかったでしょうか。一進一退のシーソーゲームでしたが、相手エースがファイブフールで退場、これが勝負を決しました。代表決定戦では大館鳳鳴高校と対戦、序盤から相手の固いゾーンディフェンスを打ち崩せずリードを許す展開。最後まで追いつけずに敗退。インターハイ出場は3年連続であと一步及ばず叶いませんでした。

しかし、大会後は悔しさよりも、前評判も高くなかったわれわれが「ここまで来た」という満足感が残ったことを思い出します。

この夏、創部100周年記念祝賀会に際し、われわれ同期が卒業以来初めて一堂に会することができました。SNSを通じて再び繋がることができた仲間たちと半世紀前の記憶を頼りに本原稿を取りまとめました。過去の記憶や当時の思いを呼び起こす貴重な機会をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

ト！」の嵐が鳴り響きました。合宿中の厳しい練習により嘔吐する者、疲労で食事を摂れず倒れる者など、体力・精神的にも厳しいものでした。そんな中でもユニークだったのが、食事前に全員で歌う「ごはんの歌」です。ごはんだ、ごはんだ、さあ食べよう風もさわやか、*心も軽く、みんな元気だ、感謝して、楽しいごはんだ、さあ食べよ（線路は続くよどこまでも）のメロディで）

（*実際は「心も軽く、みんな元気だ」とはほど遠い状態でしたが…）

一方、普段の練習は授業終了後の約1時間半、中学時代より短時間ながら

ISUZU
秋田いすゞ自動車株式会社
代表取締役社長（昭和50年卒）
辻 良之
取締役経営企画部長（平成27年卒）
辻 良輔
<http://www.akita-isuzu.co.jp>

大場村 松橋ファーム
松橋ファーム
(株) 大潟村松橋ファーム
代表取締役 松橋 拓郎（平成17年卒）

入院のできる
かかりつけクリニック
山王胃腸科
SANNÔ ICHOUKA
院長 最上希一郎
（平成7年卒）
TEL 018-862-5211
<https://www.sanno-ichouka.com>

A・B・C
株式会社
秋田物流センター
代表取締役
齋藤 靖之（平成7年卒）
本社/物流センター御所野湯本
〒010-1415 秋田市御所野湯本二丁目1番2号
TEL(018)853-7211 FAX(018)892-6792
<https://abc-butsumuryu.com>

ZOOM UP!



かわべ・じゅんのすけ／慶応義塾大学修士課程修了後農林水産省に入省。農村振興、土地改良、米政策などを担当。警察庁や財務省、在ドイツ日本国大使館へも出向。これまで培った経験を故郷秋田のために生かしたいと令和7年春の県議会補欠選挙に出馬して当選。2人の子とも秋田に帰郷。どんな社会課題も秋田が持つ資源を有効に利用すれば解決できないものはないと信じている。

同窓生の経験活かせば 秋田は動く

川辺 隼之介（平成13年卒）

平成20年から農林水産省で働いていましたが、思い立って秋田に戻り、今年4月、秋田県議会議員を拝命しました。

数ある役所から農林水産省を選んだのは「秋田に恩返しできる仕事がしたい」という理由でした。農林水産業を元気にできれば、秋田も元気にできると。

しかし、この17年間、修行でした。政権交代による荒波にもまれ、米政策で「現場を何もわかっていない」と怒られ、数カ月でデジタル庁の立上げを取りまとめたこともあり。ドイツに駐在して、EUによる食品の放射線規制の撤廃に向けての交渉で神経をすり減らしたこともあり。秋田のためになっているか分からなくなることもたくさんありました。

でも、そうした経験の中で、物事を動かすために必要なことを学びました。知恵を絞って汗をかき、対立の中に共通項を探し、打ち込む場所とタイミングを見極める。一人で全部やらないで、チームで分担する。そうすればできないことは案外ないのです。

そして、外に出て、秋田には本当にたくさんの強みがあると気づきました。普段皆さんが食べているお米、世界では星付きレストランが欲しがっています。強みを強みとして認識すれば、まだまだやれることはたくさんあります。

どこの大学に行こうともどこで働こうとも、皆さんの経験はただ一つのもので。そこで得た経験が、一人ひとりにしかできないことを与えてくれます。そして、今思うのは、そういった経験をみんなで持ち寄れば、秋田をもっとよくできるのではないかということです。

保証します。霞が関やドイツでの業務より、今の秋田でできることの方が面白いのです。（生意気ですみません）私には、秋田はスケールの大きいクラデコ（クラサタ！）のように見えています。自分だったら秋田のどこをどう動かすか。秋田にいる方も県外にいる方も、それを持ち寄って秋田で実践していただけたら、秋田はもっと前に進むはず。先輩の皆様、後輩の皆さん、どうかよろしくお願ひします！私も頑張ります。



ショーケースエクスプレス爆誕!

平野井 順一（平成6年卒）

「情けは人のためならず」秋田高校では数多くのことを学びましたが、社会人になってから最も思い出す回数が多かった重要な言葉は、この言葉です。

いつも情けをかけられる、助けられる側だった私も、高校を卒業して30年ようやく外に目が向けられるようになってきました。地元秋田の若者の助けになるようなことができれば、そう思ってこの春始めたのが「ショーケースエクスプレス」です。現在私が経営をしている株式会社ショーケースは東証スタンダードに上場をしているIT企業（本社は六本木一丁目）で、国際教養大学（AIU）どころか秋田とビジネスのつながりなどはありませんでしたが、AIUの学生の交通の課題を少しでも解消できればと思い、AIUと秋田駅を結ぶワゴン車を2025年の4月から走らせ始めました。ご存じの方も多いかもかもしれませんが、秋田市雄和にあるAIUは交通の便が悪く、学生の活動範囲を狭める大きな要因となっていました。学生の負担なく交通の選択肢を提供できればと思って考え出したのがショーケースエクスプレスのビジネスモデルです。企業から受け取る広告料で運営費をまかなうため乗車は無料。学生への告知は全てSNS。公式インスタは、ほぼ100%の学生からフォローされ、連日満席の便が出るなど、大きな反響をいただいています。

AIUの学生は卒業後に県内に残る割合が小さく、課題になっているとのこと。しかし発想を変えると、多くの卒業生が県外・国外に秋田の良さを伝えてくれるメリットもあります。そのメリットを最大化するためにも、秋田県内で若者が良い生活を送れるような環境づくりをすることが、私たち秋高同窓生や秋田県民の役目であると思っています。

課題先進県と言われる秋田県では、他県に先駆けて新しい取り組みをしなければなりません。その旗振り役が秋高同窓生であり、その協力者にも同窓生が数多くいて欲しいと思っています。情けは人のためならず。地域を想う「行動」は、きっと特定の地域が良くなるわけではなく、巡り巡って…ということになるでしょう。地元秋田を想う気持ちの強い同窓生は多いと思います。ぜひ想いだけでなく、「行動」まで一歩進めていただければ、と期待しています。



ひらのい・じゅんいち／東京都在住。建設、アパレル、バイオ、IT業界で経理・財務責任者・CFOを務め、20種類以上の資金調達を経験。上場会社で債務超過解消を代表取締役として任されたプロフェッショナルCFO。YouTubeチャンネルで「CFO大学」を主宰。現在は東証スタンダードに上場する株式会社ショーケースで自身2度目の上場企業の代表取締役を務めている。

平成2年卒の岩谷氏、
生徒会長と校長に
今後10年にわたり寄付

仙台で調剤薬局を経営する岩谷裕悦氏（平成2年卒）が9月25日来校し、生徒会長と校長それぞれに10万円を寄付しました。使い方はお任せです。今後10年間にわたり毎年寄付を続けるお考えで、「本業にまい進しもっと大きな額を寄付したい」とおっしゃっていました。

岩谷さんは最近、同期生と会う機会が増え、母校や地元へ何か貢献したいという思いを抱きました。どんな方法がよいかを思案する中、ある自治体が市内の高校の生徒会長に使途を一任して百万円を配ったという話を聞き、「これはいい」と思ったそうです。岩谷氏は、受け取った資金を何に使うかだけでなく、どのようなプロセスを経てそれを決めるのかも生徒にとっては貴重な経験になると考えました。



右から岩谷裕悦氏、八塚奈奈生徒会長、庫山校長、おおさわ 祐月行事企画管理室室長、岩谷さんの同期の武内伸文県議

母校も生徒の人数がピークの半分に減り、同窓会の現役生徒への支援や交流の原資になる会費収入が先細りになるのは避けられませんが、岩谷さんのような母校を思う同窓生のお志は大きな励みになります。寄付を受け取った生徒会長と校長がどのような使い方をされるか楽しみです。

哀 悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

敬称は省略させていただきます

令和6年

2月 藤原 隆司 (昭30)

6月 佐々木吉孝 (昭29)

10月 船木 清治 (昭22)

11月 貝田 邦義 (昭33)

佐藤 毅 (昭25)

中村 啓一 (昭31)

12月 川田 圭一 (昭28)

越後谷三郎 (昭33)

令和7年

1月 諸橋 公喜 (平1)

鎌田 博 (昭33)

宮田 富雄 (昭28定)

伊勢 諒吾 (昭31)

大島 茂勝 (昭34)

亀山 靖子 (昭52)

大川 正美 (昭41)

2月 佐藤 丈夫 (昭34)

岡野 丘 (昭33)

伊藤 信美 (昭41)

嶋山 雅博 (昭31)

3月 加賀谷一男 (昭30)

鎌田 康正 (昭33)

堀松 勉 (昭33)

三浦 弘 (昭28)

4月 長門 康治 (昭36)

佐々木悦夫 (昭28)

吹浦 紀雄 (昭33)

豊島 東男 (昭36)

貝田 理 (昭52)

池田 紀子 (平11)

山内 憲二 (昭34)

堀井 正悦 (昭44)

田口 信夫 (昭35)

舛屋 忠 (昭31)

横山 秀男 (昭25定)

長谷部昌子 (昭30定)

5月 秋元 敏見 (昭33)

腰山 豊 (昭29)

加賀谷俊雄 (昭31)

木曾 久勝 (昭31)

高田日出男 (昭44)

村杉 治郎 (昭35)

6月 伊藤 宏 (昭42)

佐藤 恒悦 (昭22)

鎗野目雄 (昭46)

飯塚 甫 (昭25)

川口 朝子 (昭35)

小玉 弘之 (昭47)

7月 佐々木 厚 (昭36)

竹谷 博久 (昭42)

加藤 功二 (昭28)

佐々木健次 (昭29)

赤川 賢二 (昭30)

古田 重明 (昭33)

保坂喜久雄 (昭47)

大隅 繁吉 (昭19)

佐藤 允 (昭29)

時田 博 (昭40)

岩崎 俊一 (昭19)

三森 恒範 (昭32)

佐々木 清 (昭30)

高田屋栄一 (昭28定)

8月 舛木 志郎 (昭29)

石川 久悦 (昭30)

澤田石 晶 (昭46)

山内 征三 (昭33)

山口 馨 (昭27)

伊藤 秀美 (昭33)

渡邊 清 (昭31)

石塚 衛 (昭32)

小林 宏晨 (昭31)

佐藤 義明 (昭33)

越前 努 (昭52)

斎藤 省吾 (昭45)

船木富三弥 (昭51)

古木 久夫 (昭27)

9月 平澤 孝一 (昭29)

倉田 隆一 (昭32)

神居 勝康 (昭43)

関 忠雄 (昭31定)

小林 道男 (昭30)

佐藤 隆夫 (昭50)

加賀谷彰宏 (昭35)

青山 周平 (昭50)

高橋 茂治 (昭37)

◆会員情報の変更をお知らせください◆

会員情報の変更は、同窓会だよりと同封の「会員情報連絡票」のほか、同窓会HPのフォーム、メール、FAXでもお知らせいただけます。最新の住所の登録をお願いします。

◆同窓会員名簿の廃棄◆

古い同窓会員名簿を廃棄する場合、個人情報悪用されないようご注意ください。発払い宅配便で同窓会事務局宛に送ってくだされば適切に処分します。

お願い



文武両道 ~全国の舞台で活躍~



団体戦で全国3位

最高の3年間

囲碁部 高山 卓

囲碁部は、香川県で行われたかがわ総文祭囲碁部門と、東京都で行われた全国高等学校囲碁選手権大会に参加しました。半年前には男子団体戦で準優勝を果たし、全国の強豪と肩を並べて戦えていることを実感しました。今夏の大会が準優勝したメンバー（私と2年生の渡辺太陽・土門真鳳）で戦える最後の大会ということで緊張しましたが、暈が敷かれた部室で過ごしたかけがえない日々がいつも背中を押してくれました。大会特有の空気の中、全国選手権において一手一手に死力を尽くし、男子個人では第8位、男子団体では全国3位に入賞し、個人団体ともに3年連続のベスト8に入賞することができました。入学当初は思いもしなかったほどの好成績で、満足感と充実感をもって後輩にバトンを託すことができました。3年間支えてくださった両親や先生方をはじめ、すべての方々から感謝しています。応援ありがとうございました。



全国で奨励賞

香川での貴重な経験

美術部 寺田 花音

かがわ総文祭に参加し、作品を鑑賞し評価することが、制作と同じくらい美術的に価値ある営みだと実感しました。全国から集まった作品はどれも見応えがあり、それらを鑑賞する中で、制作者たちと彼らの作品だけでなく美術そのものについて語り合ってみたいと心から思いました。生徒交流会では、他地域の生徒と意見を交わし、視野が広がりました。また、秋篠宮殿下、妃殿下に私の作品をご覧いただき、直接ご説明する機会にも恵まれました。緊張の中でしたが、真剣に耳を傾けてくださるお姿に芸術への深い理解と温かいお人柄を感じました。全国作品展示で奨励賞をいただいたことも、大きな励みとなりました。これらの経験を通して、表現者と鑑賞者が互いに関わり合うことで作品に新たな意味が生まれることを知りました。これからのその視点を大切に、制作に向き合っていきたいです。



総文祭特別賞

多くの努力の形に触れて

書道部 竹村 心那

かがわ総文祭で特別賞を受賞することができ、大変光栄に思います。昨年の秋に総文祭の出場が決まった際には初めてのことがばかりで困惑していましたが、先生方や家族、先輩方の協力のおかげで準備を円滑に進めることが出来ました。作品観覧の際には、書の原本を様々な角度から観察し、オリジナリティを込めながら解釈していることが伝わる作品が多く見受けられ非常に感動しました。やはり作品を見ていく上で西日本と東日本では書の雰囲気や書き方が異なるため、秋田県の書道展とはまた違う刺激を受けることができました。

総文祭を通じて全国のレベルの高さに圧倒され、自分の未熟さを痛感すると同時にデジタルが主流の今日に仲間と筆をとることのできる喜びを感じました。この経験を生かして来年の秋田大会ではさらに質の高い作品に仕上げられるためにこれからも努力を惜しまず積み重ねていきます。





男子ダブルスカルで準々決勝進出



積み重ねの先に

ボート部

武石 彬史
たけいし あきひと

男子ダブルスカルに出場した私と2年の鎌田悠慎は、全県総体でライバルの本荘高校に漕ぎ勝ち、広島県福山市で行われるインターハイ出場を決めた。会場となった菅田川は、風も波も非常に強く、さらに広島島の強烈な日差しと猛暑によって、予選では自分たちらしい漕ぎが全くできなかった。それでも、これまで積み重ねてきた「考えるローイング」を武器にレースプランを立て直し、敗者復活戦では最後の最後に相手を差し切って準々決勝進出を果たした。準々決勝でゴールした瞬間、数え切れない出来事が一気によみがえり、胸が熱くなった。次々と辞めていった同級生、冬の厳しい練習の日々、先輩との思い出、そしてインターハイ出場を決めたときにコーチと抱き合った場面……

苦しいことばかりだったけれど、それでもボートを選び、続けてきて良かった。心からそう思ったのが、このインターハイだった。

「まっすぐ」を目指して

弓道部

伊藤 澄弥
いとう すみや

私たちは、インターハイ弓道競技に男子団体で2年連続の出場を果たしました。「優勝」という目標を全員で掲げ、「まっすぐ」に引くことを目指して日々の練習に励みました。迎えた本番では、前半は10射4中で思うように力を出せず苦しみましたが、最後の1射は5人全員が的中し20射12中で競射まで持ちこみました。しかし、残念ながら競射で敗れ、予選敗退という結果に終わってしまいました。

この3年間を振り返ると弓道を通して貴重な経験を積み、仲間と笑い合ったり、目標に向かって練習をした日々が思い起こされます。もちろんうまくできなくて悩んだこともありましたが今となっては良い思い出です。最後に、いつも支えてくださったOB会の皆様、先生方、保護者の方々や後輩たちにこの場を借りて感謝を申し上げます。これからも秋田高校弓道部をよろしく願います。



団体で全国9位



頂を目指して

山岳部

仲山 千尋
なかやま ちひろ

今年のインターハイは昨年までの反省のもと、本気で優勝を目指してきた大会でした。この1年間、先生方と試行錯誤を重ね、細部までこだわって準備してきました。しかし、今年は例年になくハイレベルな戦いとなり、昨年の準優勝チームを超える点数ながらも9位という結果に終わってしまいました。何が減点されたのか、どうすべきだったのか。数日間夢でインターハイをやり直していました。それでも、準備の成果は全て出し切れたと胸を張って言えます。安全登山のためのあらゆる力を100点満点で競うのが登山競技で、その力が99・1点に達したと言えるのなら、私はそのことを誇りに思います。何よりも準備も下見も本番も、最高に楽しかったです。

もはや家族同然の仲間や先生方と共に全国の頂を目指すことができて幸せでした。本当にありがとうございました。今後とも山岳部をよろしくお願いいたします。

仲間と歩んだ全国大会

将棋部

川田 頼輝
かわた らい

私達がかがわ総文祭の団体戦に出場しました。1回戦ではメンバー全員が勝利することができ好調なスタートを切りましたが、あとの3戦は負け、結果は1勝3敗で予選敗退となってしまいました。目標にしていた決勝トーナメント進出を果たせなかった悔しさは大きいものの、対局ごとに部員全員が持てる力を出し尽くし、1局1局を楽しんで指すことができました。全国の強豪と真剣勝負を交わせたことは技術と精神の両面で貴重な糧となり、仲間と共に大会を楽しめたことが何よりの収穫です。部活動で詰将棋を解いたり互いに厳しく指摘し合った日々は忘れられません。この大会で3年生は引退となりますが、悔いのない結果であったように思います。応援してください。皆さん、本当にありがとうございます。後輩の皆さん、将棋を楽しんで頑張ってください。





10年間の集大成

レスリング競技 **桑島 壮平**

私は第72回全国高等学校レスリング選手権大会にフリースタイル、92kg級で出場しました。結果は3回戦敗退という悔しい結果で終わりましたが、タックルで攻めるといふ杉田道場のスタイルを最後までやり通せたと思います。10年間レスリングを続けていますが、中学までは4大会しか出場しておらず、高校1年生では道場のコーチとして携わっていたので、本格的に大会に臨んだのは今年からでした。それでも、これまで道場で培ってきた体力や身体能力のおかげで、半年弱という短い期間でインターハイという夢の舞台に出演することができました。

今年の国民スポーツ大会が最後の試合となりますが、これまで支えてくださった家族や、道場の監督、コーチをはじめとした道場生の皆さんと大会に出場できるよう支えてくださった先生方に感謝して臨み、最後まで自分のレスリングを貫いていきます！応援よろしくお願いします！

来年こそは

少林寺拳法競技 **藤原 芽吹**

広島で行われた全国高校総体少林寺拳法競技に出場しました。予選では周囲の声援や気迫に圧倒され、自分らしい演武ができませんでした。準決勝では全国の先輩や仲間の声援を受けてキレのある演武ができました。それでも全国の決勝の舞台にはあと一歩届かず、決勝進出者の演武を見ながらとても悔しい思いをしました。来年のインターハイでは必ず決勝へ進み、さらなる高みを目指したいと思っています。来年の目標達成への通過点として全国高校選抜大会などが行われるので、日々の練習の中で今回の悔しさを忘れることなく励んでいきたいです。武道として、精神力も大切になることを今回の大会で改めて実感し、人としても強くなり、来年のインターハイの舞台に立てるよう自分を磨いていきたいです。指導してくださる方や応援してくださる方への恩返しができるようこれからも頑張ります。



全国大会出場

令和7年度全国高等学校総合体育大会(中国地方開催)

- 山岳部
 - 【女子団体】 仲山千尋・佐藤サン・木本遥香・猪股愛子
- 弓道部
 - 【男子団体】 伊藤澄弥・森川月・小野慧士郎・我満啓志・新目琉喜・石田康晴
- バドミントン部
 - 【女子ダブルス】 高崎悠生・渡部結衣
 - 【女子シングルス】 高崎悠生・渡部結衣
- 卓球部
 - 【男子シングルス】 仁部琉弥
 - 【女子シングルス】 植田莉聖
 - 【男子ダブルス】 三上充紀・齊藤佑典
- 美術・工芸部門 寺田花音
- 放送部門
- アナウンス部門 小島日和
- オーディオメッセージ部門 藤原愛結
- ビデオメッセージ部門 小島日和
- 書道部門 竹村心那
- 囲碁部門
- 団体戦(県代表) 渡辺太陽
- 個人戦 高山阜
- 柔道部
 - 【男子個人】 60kg級 佐々木道和
- 陸上競技部
 - 【男子110mハードル】 大野忠晴
 - 【女子100m・200m】 鈴木希実
- ボート部
 - 【男子ダブルスカル】 武石彬史・鎌田悠慎・鷹島大輔
- 《個人競技》
 - フエンシング
 - 【男子フルーレ】 津谷龍星
 - レスリング
 - 【個人対抗戦】 92kg級 桑島壮平
 - 【少林寺拳法】 藤原芽吹
 - 将棋部門
 - 【団体戦】 川田頼緋・三戸瑤智弥・幡宮悠人
 - 写真部門 細谷慶
 - 文芸部門
 - 散文部門 門脇優奈
 - 弁論部門 伊藤那由多
 - 自然科学部門
 - 研究発表
 - 化学部門 金優剛・河原田優菜
 - 生物部門 平野叶恵・渡部夏子
 - 地学部門 加賀谷真太郎

～北雄の翼2025～

日程

令和7年7月6日(日)～14日(月)

7/6 (日)	出国手続き後、空路ボストンへ ボストン着・タフツ大学寮へ移動
7/7 (月)	他国生との合同プログラム・キャンパス内ツアーおよび 大学周辺散策・イブニングアクティビティ (7/7～7/11 午前中は英語プログラム)
7/8 (火)	日本人ゲストによる講演会・イブニングアクティビティ
7/9 (水)	訪問研修 Koch Institute (癌研究センター) フレッチャースクールの社会人大学院生との座談会
7/10 (木)	ハーバードキャンパスツアー・イブニングアクティビティ
7/11 (金)	MITキャンパスツアー・ イブニングアクティビティ (ダンスパーティー)
7/12 (土)	ボストン市内／近郊「班別自主研修」
7/13 (日)	出国手続き後、空路日本へ (14日秋田着)

同窓会のご支援により2018年から続く海外研修「北雄の翼」に、今年は32名の生徒が参加してきました。ボストンを舞台に、午前中は英語クラスでの他国生とのディスカッション・ディベート・プレゼンテーションなどの言語トレーニング、午後にはハーバード大学やマサチューセッツ工科大学など世界トップクラスの教育機関を訪問しました。他国の生徒たちとスポーツやゲームなどのアクティビティを通して交流したり、研修の成果をプレゼンで披露して活発な意見交換を行うなど、充実した時間を過ごすことができました。昨年同様、地下鉄の工事が続いており柔軟な対応や行動力を試される場面もあり、別の側面からの研修の機会がありました。研修で得た経験や自信、仲間との絆を胸に、帰国後もそれぞれの目標に向かって挑戦を続けています。

生徒の感想

2B 渡部 葵

研修前は、語彙や文法に自信がなく、英語での会話ではテンポが落ちてしまうことが多かった。しかし研修で多くの人たちと英語で会話をするうちに、これまでよりも積極的にコミュニケーションを取ることができるようになった。さらに、「もっと十分に英語でやり取りができるようになりたい」と強く感じた。日本語ではなく英語で過ごす時間は刺激的で、多くの学びがあった。ボストンでの体験や世界中から集まった学生との交流を通じ、秋田にいる時よりも多様な文化に触れることができた。例えば、日本のじゃんけん似た遊びや折り紙のような文化など、国は違っても共通の話題があることに気づき、とても興味深かった。今後は、「北雄の翼」での経験を生かし、より多くの国や文化、さらには異なる考えを持つ人々と関わる際に、積極的に話しかけ、英語が多少わからなくても乗り越えられるよう努力していきたい。



2E 工藤 朋子

タトゥーを入れた高いポニーテールのCA(客室乗務員)や、頭にトモロコシを思わせる細かい編み込みを入れたコーンロウ姿の保安検査員など、日本では見られない光景に驚きながら始まった北雄の旅は、私を精神的にも物理的にも大きく成長させてくれた。まず立ちはじめは高かったのは物価の高さである。後輩たちには、現地の人との金銭感覚の違いを理解したうえで、お金の使い方についても考えて欲しいと伝えたい。また初めは英語力の不安から、目の前に話したい相手がいなくても話しかけられないもどかしさを感じることもあった。しかし、ガイドや英語クラスのクラスメイト、先生などの英語話者と1対1の会話を重ねたり、観光の合間に自分なりに英語で挑戦したりすることで少しずつ自信を付け、日を追うごとに英語で話すことを楽しみながら行動できるようになった。この悔しさや挑戦の経験は、日本では得られない貴重な財産であると断言できる。これからも現状に満足せず、目標に貪欲に挑戦し続け、自分をさらに成長させていきたい。



学食が1年ぶりに復活

母校の学生食堂が4月、「秋高気分屋食堂」として復活しました。運営するのはラジオ局のエフエム秋田。同局でパーソナリティを務める同窓生の北川楓夏さん（平成22年卒）が、とある会合で船木保美社長（昭和51年卒）に学食の苦境の話をしたところ、「それじゃ、うちがやろう！」と言ってくださり、同局の番組「気分屋食堂」とのタイアップで学食を運営することになったのだそうです。

2016年、生徒にバランスのいい食事を食べさせたいという思いから立ち上がった同窓会の「学食復活プロジェクト」。資金を募って厨房を整備し、2019年に念願の再開を果たしました。その後、2度の中断を余儀なくされましたが、そのたびに生徒の「また学食で食べたい！」という期待に支えられ郷土創生特別委員会など同窓生が奔走、復活しました。

学食のインスタグラムを見ると、毎週日替わりメニューが紹介されているほか、折々に市内外の人気飲食店とのコラボもあり、エフエム秋田の生徒を思う気持ちが溢れています。フライドポテトや唐揚げ、揚げたこ焼きの詰め放題も人気。少しでも多く詰め込もうと工夫を凝らすところが、さすが秋高の生徒たちと感心されているとか。

学食はもちろん同窓生も利用できます。また学校や同窓会の会合向けの弁当の注文も受けているので、どんどん利用して盛り上げていきましょう。



6月20日 エフエム秋田の「やっちまえ羅漢」に出演した秋高生のバンド「くたくたべんたごん」



10月17日の日替わり弁当（ポークソテー）と日替わりメニュー（若鶏のペペロンチーノ）

同期会や支部総会などの記念品としてご活用ください

同窓会オリジナルグッズ

グッズの売り上げは全て生徒の教育振興に充てています

同窓会館「羽城館」で
購入できます
FAX・Eメールでも受付中



従来版



創立150周年記念版（在庫限り）

◆マフラータオル 各2,000円（生徒は1,500円）



赤：敬天愛人理想を高く
青：おれを修めて世のためつくす
黒：汝、何のためにそこにありや

◆フリクションボールペン（3本セット）
校章・文字入り ケース入り 800円



カラー版



セピア版

◆クリアファイル 各100円

令和7年度 年会費納入のお願い

同窓会の財源は皆さんの納める年会費です。「同窓会だより」の発行や母校生徒への支援、年次同期会への補助にも使われる年2000円の会費納入をお願い申し上げます。

◆スマホ決済アプリも利用可能◆

払込取扱票のバーコードをスマホで読み取ることで年会費の納入が可能です。ゆうちょPay、楽天銀行コンビニ支払いサービス、ファミペイ、PayBなどのアプリが利用できます。経費節減のため、できるだけコンビニ納付かスマホ決済をご利用ください。

スマホ決済の利用方法▶▶
(PayPayは利用できません)



◆ホームページからのオンライン入金◆

同窓会ホームページからオンラインによるクレジットカード、銀行振込でのお支払いもできるようになりました。

オンライン入金の利用方法▶▶
(同窓会ホームページ)



事務局通信

同窓会館「校史資料館・羽城館」は、同窓会の委員会、年次や部活OB幹事会、学校関係の会議、生徒行事などでも活用されている。4月に昭和53年卒有志が入学50周年の親睦会の前にウグイス坂を歩いて登り同窓会館も見学に訪れた。10月は茶道部が恒例のお茶会を開催。要望があれば休日・時間外もできるだけ対応しているのでご相談を。（悦）

編集後記

原稿を依頼した時点でまったく予想していなかったのだが、ZOOMUPへの執筆を依頼した川辺隼之介さんと平野井順一さんの原稿の締めがそっくりなのに驚いた▼ふたりとも、同窓生に向かって秋田のために行動しよう！と呼びかけているのだ▼後から思うと無意識に同じような思いを持つ2人を選んでいたようだ▼国内外のさまざま分野で活躍している同窓生が結果すれば、秋田のためにけっこういろんなことができる、そんな気がしてきた。（竹内）

〈表紙〉うぐいす坂の雪景色
金敬子さん（平成1年卒）撮影